

新日本石油基地にて臭気対策設備を建設 ～臭気解消とエネルギーの有効利用への取組み～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)グループの原油中継備蓄会社である新日本石油基地株式会社(社長:小松 正、鹿児島県鹿児島市、以下「新日本石油基地」)は、原油タンカーからの排出ガスを回収することで、原油に由来する臭気成分を取り除くと同時に、エネルギーとして再利用する設備を喜入基地に設置することを決定しましたのでお知らせいたします。

新日本石油基地では、2004年から臭気成分などの排出ガスの性状把握について、鹿児島大学と産学共同研究を進めてまいりました。今回の設備により、臭気成分の98%以上を削減するとともに、排出ガス中のエネルギーを再利用し、石油資源の効率利用も可能となります。

なお、今回の設備は、NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)のエネルギー使用合理化事業者支援補助事業として承認されております。

当社グループは、経営理念に「Environmental harmony(地球環境との調和)」を掲げ、「環境への取組み」をCSRの中の最重要分野と位置づけており、今後も地球環境保全に努め、サステナブル(持続可能)な社会の創造に貢献していきます。

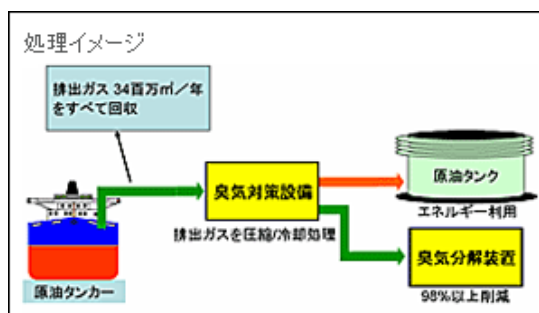
記

1. 設備概要

排出ガス回収量: 34百万m³/年
(喜入基地の年間の原油タンカー受入数
約320隻の排出ガスに対応)

2. 設備投資額 約40億円

3. 運転開始時期 2007年4月予定



以上

新日本石油基地の概要

- 商号 新日本石油基地株式会社
- 住所 〒891-0202鹿児島県鹿児島市喜入中名町2856番5
Tel (0993)45-1131
- 設立 1967年3月(操業開始:1969年9月)
- 資本金 60億円(株主構成:新日本石油(株)50%,新日本石油精製(株)50%)
- 営業内容 石油類の貯蔵および受払
- 従業員数 154名(役員を除く)
- 主な役員 取締役社長 : 小松 正(こまつただし)
常務取締役 : 淵脇 哲朗(ふちわきてつろう)
取締役喜入基地所長 : 泉 孝明(いずみたかあき)
- 貯油能力 735万KL(日本全体の石油消費量の約2週間分 世界最大級の原油基地)
原油タンク57基(16万KL級24基、10万KL級30基、5万KL級3基)

